

水源郷 わくわく通信

第4号

インフラ
ツーリズムに
向けての取り組み

この水源郷わくわく通信は、
水源地域ビジョンの取り組みの
様子を、皆さまにお知らせする
ために発行するものです。

発行：平成27年10月21日

お問い合わせ先：国土交通省 関東地方整備局 鬼怒川ダム統合管理事務所 調査課
宇都宮市平出工業団地14-3 電話：028-661-7764

水源地域ビジョンとは

「水源地域ビジョン」は、ダム水源地域の自治体、住民等がダム事業者・管理者と共同で策定主体となり、下流の自治体・住民や関係行政機関に参加を呼びかけながら策定する水源地域活性化のための行動計画です。

点検放流に合わせてダムの見学会を開催しました

鬼怒川・川治ダムおよび川俣ダム

鬼怒川の上流にある川治ダムと川俣ダムでは、5月18日と22日に非常用放流設備（クレストゲート）から点検放流を実施しました。点検放流の実施に合わせ、放流中のダムの様子を見ることのできるダム見学会を開催し、多くの見学者が訪れ、放流の様子を間近で見ていただきました。川治ダムでは、点検用の通路（通称：キャットウォーク）から放流の姿をより間近でご覧いただくことができました。



キャットウォークからみる川治ダムの放流



『渡るっしやい吊橋』の上から望む放流風景(川俣ダム)

実施ダム	実施日	実施時間	見学者数	備考
川治ダム	平成 27.5.18（金）	10時～12時	約85名	昭和58年完成 堤高140m
川俣ダム	平成 27.5.22（金）	13時～14時	約150名	昭和41年完成 堤高117m

おしらせ

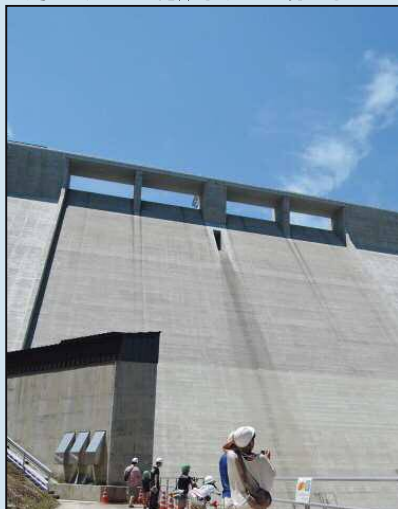
点検放流は、設備の管理上必要な場合に実施します。そのため、実施時期等は不定期となりますが、見学会を開催する際には、事前に鬼怒川ダム統合管理事務所のホームページでお知らせします。点検放流の情報を事前に入手し、ぜひ次回は皆さまの目で放流の姿を確認してみてください。

鬼怒川上流の4ダム見学会を開催しました



●川俣ダムをキャットウォークから眺める

●湯西川ダムの堤体を下から眺める



●五十里ダムの堤体天端を歩く



●川俣ダムのキャットウォークを歩く



1日で延べ、約2,000人もの見学者に参加していただきました

国土交通省・林野庁では、毎年7月に行われる「森と湖に親しむ旬間」に合わせて、ダムの天端やダムの内部などを見ることができるダム見学会を開催しています。この一環として、平成27年7月26日（日）に、国土交通省が管理する五十里ダム、川俣ダム、川治ダム、湯西川ダムの4つのダムで見学会を開催いたしました。

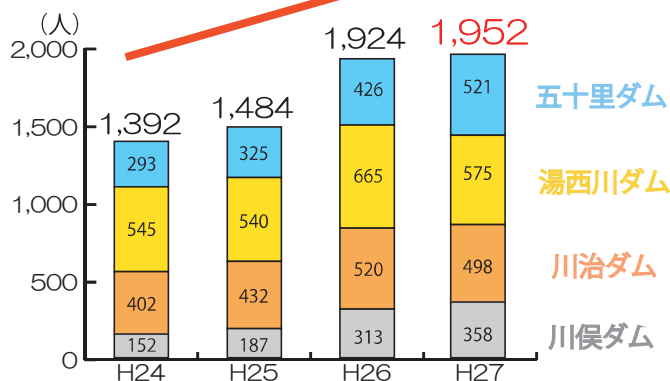
当日は天気も良く、多くの見学者の参加がありました。また、4つのスタンプを集めると、ダムカードを入れる『ダムカードホルダー』がもらえるスタンプラリーなどの催しもあり、楽しんでダムを見学されていきました。



ダムカードと
ダムカードホルダー

ダム見学の活用について

ダム見学者人数



ダム見学は、近年人気が上がっており、毎年参加する見学者が増加しています。

また、国土交通省でもインフラツーリズム（橋やダム等の土木施設を観光資源の1つとして活用する動き）の推進を検討しております。

鬼怒川上流ダム群水源地域ビジョンにおいても、インフラツーリズムに対する取り組みを深めることを考えています。